

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	前年度の実績値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習を行う習慣がない児童生徒が増えており、学習習慣を身につけて、基礎学力の定着を図り、学力向上を目指すことが、学校・家庭の共通の課題となっている。	小学校3、4年生の希望者、中学校全学年の希望者を対象に放課後学習教室を開室した。	・地域人材を指導員として配置し、放課後に年間18日間程度、「放課後学習教室」を開催し、学習習慣と基礎学力の定着を図る。 ・独自の教材開発や、ICTを用いて、学習意欲を高めることにより、家庭学習の充実へとつなげる。	参加児童生徒が学習に対する意欲を向上させ、家庭学習の充実につなげる。	参加児童生徒の放課後学習教室アンケート「学習が好きになった」児童の割合	87	%	80	80.7	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 参加者によるアンケートでは、目標は上回り80.7%の児童が、学習に対して意欲的に取り組むことができるようになったと回答しており、家庭での学習にもつながってきている状況が見られる。 希望制での参加であるため、年度ごとに参加児童が変わるが、本事業を通して、学習に対して意欲的に取り組み、家庭学習の充実につながるよう、教材の開発を図る。
③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習を行う習慣がない児童生徒が増えており、学習習慣を身につけて、基礎学力の定着を図り、学力向上を目指すことが、学校・家庭の共通の課題となっている。	小学校3、4年生の希望者、中学校全学年の希望者を対象に放課後学習教室を開室した。	・地域人材を指導員として配置し、放課後に年間18日間程度、「放課後学習教室」を開催し、学習習慣と基礎学力の定着を図る。 ・独自の教材開発や、ICTを用いて、学習意欲を高めることにより、家庭学習の充実へとつなげる。	参加児童生徒が学習に対する意欲を向上させ、家庭学習の充実につなげる。	「進んで学習するようになった」生徒の割合	92	%	80	93.8	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 「自分にあった勉強法が見つけられた。」「自習するのが少し楽しくなった。」など、学習意欲の向上が見られた。引き続き、学習しやすい環境の整備に努めていく。